

# 令和5年度 阿南市ふるさと納税寄附金実績報告

阿南市版ふるさと納税では、持続可能な社会づくりを実現させていくために、環境保全・美化・啓発活動や環境配慮商品の開発に取り組む事業者が返礼品を提供する制度運用を行っております。昨年度においてもこの制度に御理解をいただき、ふるさと納税（寄附）を全国各地から多数受け賜われることができました。お礼申し上げますとともに、令和5年度の本市への寄附件数及び寄附金額を御報告いたします。

令和5年度寄附件数 35,079件 令和5年度寄附金額 563,507,800円

なお、寄附金額から業務委託料などの必要経費311,405,917円を差し引いた実質収入金額252,101,883円を「ふるさと阿南応援事業基金」へ積み立てております。

寄附金使途指定（応援）事業（令和5年度）

- ①阿南SUPタウンプロジェクトの推進に関する事業
- ②関係人口の創出・拡大・深化に関する事業
- ③環境保全に関する事業
- ④観光振興に関する事業
- ⑤創業支援に関する事業
- ⑥その他市長が認める事業

## ～令和5年度ふるさと納税寄附金使途報告（主な事業）～（令和4年度分の御寄附を活用）

応援事業名：①阿南SUPタウンプロジェクトの推進に関する事業

### ● SUPレースイベント企画・運営事業（2,900,000円）

阿南市が推進する「阿南市サップタウンプロジェクト」に関する事業として、令和5年11月に「西日本SUP選手権inサップタウン阿南～ワールドセッション2023～」を開催しました。大会を通して「関係人口の創出・拡大・深化」を図るとともに、官民協同による持続可能な社会づくりに繋がることが期待されます。



応援事業名：②関係人口の創出・拡大・深化に関する事業

### ● 東京・関西 阿南ふるさと会運営事業（4,013,455円）

東京及び関西圏に在住する阿南市出身の方などで組織する「ふるさと会」のネットワークを柱として、活動（イベント等）の開催や阿南市の観光、産業等のPRなどを行うことで会員相互の交流や関係人口の創出・拡大・深化を図ることが期待できます。



応援事業名：③環境保全に関する事業

### ● 公用車（電気自動車、ハイブリッド自動車）購入事業（6,225,018円）

「2050年までのCO2排出量正味ゼロ」の実現に寄与するため、公用車を次世代自動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車）その他の次世代自動車及び低燃費・低公害車へ更新しています。令和5年度は軽乗用電気自動車を1台、小型乗用ハイブリッド自動車を1台、普通乗用ハイブリッド自動車を1台導入しました。



応援事業名：③環境保全に関する事業

### ● 防犯灯のLED灯への改修事業（4,191,000円）

本市では、これまでの水銀灯の防犯灯から環境負荷が少なく、省コストで長寿命のLED型防犯灯への改修事業を進めており、令和5年度においては未改修の153灯についてLED型防犯灯への改修を行い、市民生活における交通安全の確保や防犯対策の向上が図られました。



### 応援事業名：③環境保全に関する事業

#### ● 住宅用太陽光発電システム補助、省エネ家電買替支援事業（13,320,000円）

住宅用太陽光発電システム及びそれに接続した家庭用蓄電池システム、電気自動車等充給電設備（V2H）設置者に補助を行い、地球温暖化対策の推進及び脱炭素社会の形成及び市内中小事業者の振興を図りました。

### 応援事業名：③環境保全に関する事業

#### ● 阿南市子どもエコクラブ事業（116,600円）

市内に通う小学生を対象に、様々な環境保全につながる活動に触れ、今後の環境問題について考えることを目的として、令和5年7月にエコパーク阿南と那賀川河口干潟において市内の小学生が子どもエコクラブを開催しました。エコパーク阿南では、普段一般家庭から出されたゴミがどのように処理されているか見学し、那賀川河口干潟では、那賀川河川事務所の方から干潟に生息する生き物や植物の説明を受けたり実際に観察することができ、参加者は、生態や生態系を守るために自分たちが気をつけるべきこと、できることなどについて学習し、子どもたちも楽しそうに参加していました。



### 応援事業名：④観光振興に関する事業

#### ● 若杉山辰砂採掘遺跡発掘調査及び講演会開催事業（3,985,357円）

阿南市の「若杉山辰砂採掘遺跡」は、弥生・古墳時代における辰砂採掘の実態を示す貴重な辰砂採掘精製遺跡であるとして、令和元年10月に国の史跡に指定され、これまでにふるさと納税を活用し、本史跡の『保存活用計画』や『整備基本計画』を策定しています。令和5年度には、整備事業（整備基本設計業務）に並行して発掘調査も行い、その成果を広く周知するための現地見学会を実施し、市民の史跡整備に対する理解がより一層図られることとなりました。



### 応援事業名：④観光振興に関する事業

#### ● 光のまちづくり事業費補助（1,500,000円）

光のまちづくり協議会を中心に市内の各種団体や事業者、学生等が一丸となり、LED発祥の地として、また、地域の新たな魅力づくりとして「光のまち阿南」を象徴するイベントを開催しました。観光資源である恋人の聖地や地域資源としての「光」を全国にPRすることを通じて、関係者のシティプロモーションによる地方創生への取組に対する意識の醸成、また、地域の魅力の再発掘やブラッシュアップ、社会の変化に合わせたデジタル化や情報発信力の強化が図られました。



### 応援事業名：⑤創業支援に関する事業

#### ● チャレンジ都市阿南創造事業補助金（4,509,000円）

地域経済の好循環等につなげることを目的として、持続可能な開発目標（SDGs）の実現及び「環境」、「社会」及び「管理体制」を重視した経営モデル（ESG経営）に関係する新たな商品・サービスの開発等、先導的ビジネス展開により新規創業及び事業再構築を計画されている企業家や事業者を対象にその創業にかかる経費の一部を選考の上、補助いたしました。